



【2020.6 名取九条の会】 **憲法9条は日本の宝**

名取九条の会ニュース NO67

名取九条の会（事務局 阿部 022-384-0888）

怒りと抗議の意思を忘れず 草の根の運動で改憲阻止を

私たちに大切なこと。それはアベ政治の行ってきた数々の憲法違反行為を忘れずに草の根で対抗することではないでしょうか。日本を戦争する国・戦争できる国へとすすめようとしてきたことを思い出し、怒りを新たに安倍九条改憲を阻止しましょう。

◇2013.(平成 25)12.13 特定秘密保護法強行

国民の知る権利を制限する違憲の法律。違反には厳罰が。

◇2014(平成 26).4.1 防衛装備移転三原則(国家安全保障会議決定・閣議決定)

条件付きと言いながら死の商人を国が認め、政府が売り込みの先導をする。

◇2014(平成 26).7.1 集団的自衛権の行使容認(閣議決定)

日本国憲法に対するクーデター。

◇2015(平成 27).9.19 安保関連法(戦争法)の強行

国民、国会説明前に当時の河野統合幕僚長が米国で安保法成立を約束。

戦後最長となる 95 日もの国会会期を延長して強行採決。

◇2017(平成 29).6.15 共謀罪法(改正組織的犯罪処罰法)強行。憲法違反の現代版治安維持法

集まっただけでも処罰可能。心を罰する、戦前を想起させる内容。

※2003,2004,2005 と 3 度も国会で廃案となってきたものを、テロ対策などを口実に強行
全ては憲法解釈の変更、憲法無視の「戦争できる国」へと突き進む安倍政権によるものです。

そして今回の検察官定年延長問題。中立性が求められ自主独立でなければならない強大な検察権力を内閣が支配しようとする私物化、今国会では成立断念に追い込まれましたが、黒川検事長の辞任では済まされません。森法相・安倍総理の責任追及は勿論、法案と閣議決定の撤回を求めなければなりません。

電通との癒着はコロナ対策予算を食い物にする許されない行為です。

新型コロナウイルス感染拡大を受けての政府第2次補正予算については、10兆円もの予備費を盛り込み、国民の税金が国会の議決なしで支出されようとしています。

政治の私物化、予算の私物化はアベ政治を変えないことには解決しません。

森友・加計問題、桜を見る会、元法務大臣夫妻の選挙違反問題などなど疑念に答えるよう引き続き追及しましょう。今求められているのは「新型コロナウイルス感染拡大」防止です。

九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。

24万筆の緊急署名を国会に提出 ～ 憲法共同センターNEWS 写しを別掲

安倍九条改憲 NO 緊急署名が 6 月 4 日国会に提出されました。

宮城県内九条の会連絡会の仙台での街頭宣伝と署名活動も 5 月 26 日から再開しています。

九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。

改憲派はコロナ禍の中でも策動

今国会での憲法審査会は自民党などにより一回開催され、国民投票法を議論して改憲発議の呼び水にしようとしてしました。しかし、野党の反対と世論に押され通常国会での成立を断念しました。

どの世論調査でも憲法改正を優先する意見は少数派です。改憲は断念させましょう。

憲法変えず政治変えよう